



2019年9月 MSCニュースレター

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

目次



マーケット情報

- ・ 国内におけるCoC認証取得企業数が、250社を超える P. 4

漁業情報

- ・ 米国アトランティックメンヘーデン漁業が新たにMSC認証を取得 P. 6
- ・ アイスランドの底魚漁がMSC認証を取得 P. 7
- ・ チリ南部のヘイク漁業が新たにMSC認証を取得 P. 8
- ・ 新規審査入り情報 アメリカ北東沿岸のイカ漁業 P. 9
- ・ 新規審査入り情報 ロシアカムチャッカ半島西部のサケ漁業 P. 10
- ・ 助成金「Ocean Stewardship Fund」のご紹介 P. 11

その他

- ・ 名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」でMSCが展示 P. 13
- ・ 6回目となる「サステナブル・シーフード・ウィーク」が今年も開催 P. 14
- ・ MSC認証取得状況 P. 15

マーケット情報



国内におけるCoC認証取得企業数が、250社を超える



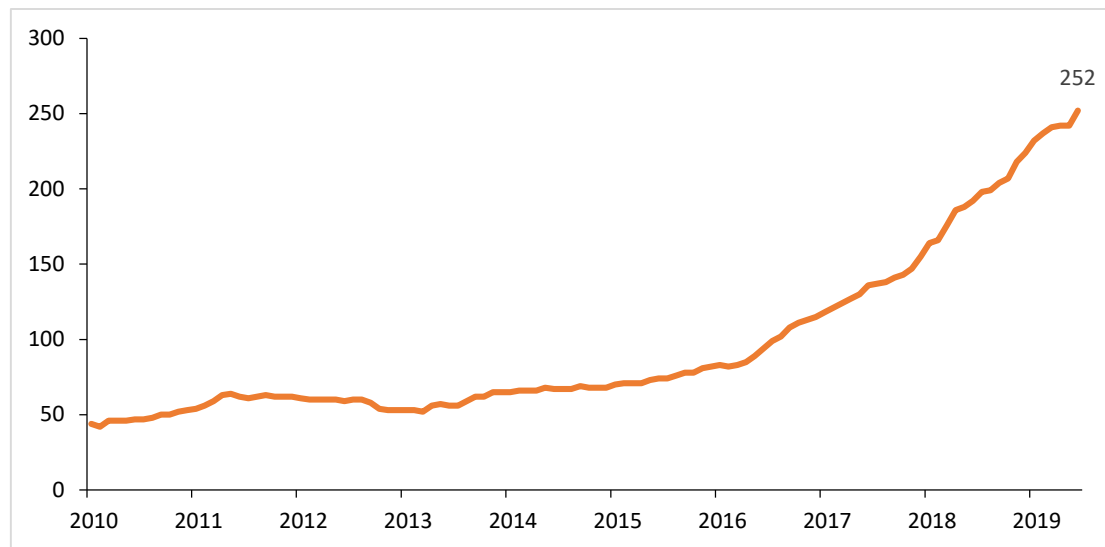
2019年10月2日

国内におけるMSCのCoC認証取得企業数が、250社を超えました。

日本では、2016年ごろからCoC認証を取得する企業が急激に増えています。この理由として、大手小売企業や大手水産会社がMSCラベル付き製品の取り扱いを拡大していることや、社員食堂でMSC認証水産物を提供する企業が増えていることなどが挙げられます。

また、CoC認証取得企業の増加に伴い、国内で流通しているMSCラベル付き製品数も800を超えました。この数は国別では15番目に多く、ヨーロッパ諸国とアメリカ、カナダ以外では最も多い製品数となっています。

国内におけるMSCのCoC認証取得企業



世界で販売されているMSCエコラベル付き製品の数



CoC認証取得企業の公式且つ最新の情報は、[MSCウェブサイト](#)より検索いただけます。

漁業情報



米国アトランティックメンヘーデン漁業が新たにMSC認証を取得



9月3日

アメリカ東部沿岸で操業するアトランティックメンヘーデン漁業が新たにMSC認証を取得しました。漁法はまき網で、この漁業による漁獲量は141,300トン（2018）です。

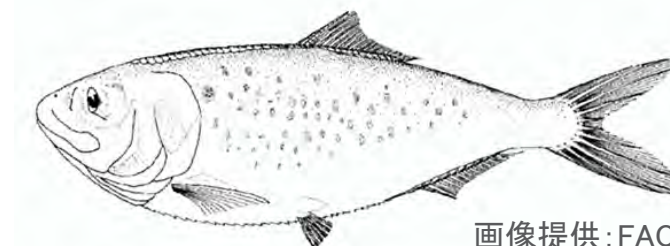
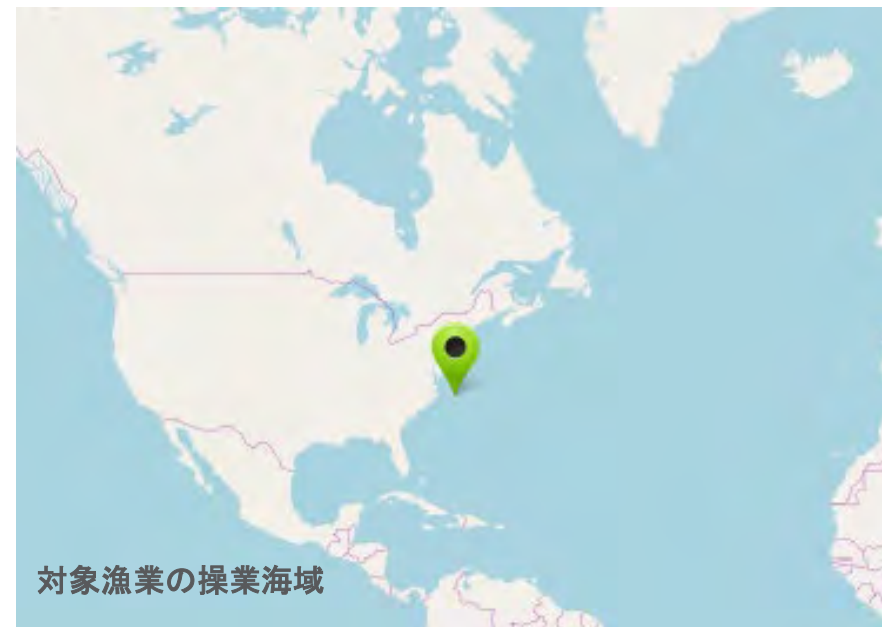
メンヘーデンは魚粉、魚油に加工され、魚粉の約50%は米国内の、残りはアジア（特に中国）の養殖餌として消費されています。認証取得者グループには、申請者であるOmega protein社と、同社向けにアトランティックメンヘーデンを漁獲するAlpha Vessel社、F.V. Mosquito Point、F.V. Carter's Creekが含まれています。

審査は独立した第三者審査機関のSAI Global社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、それらの管理システムが検証され、この漁業が持続可能であることが証明されました。

ただし、今後の状況を見据えていくつかの条件が付与されました。その中には、本種の生態的な特徴を加味した漁獲方策を構築すること、絶滅危惧種の混獲データを毎年レビューすること等が含まれています。

詳しくは、MSC認証漁業のウェブサイトからご覧いただけます。

[Omega Protein Corporation U.S. Atlantic menhaden purse seine: Omega Protein社による米国アトランティックメンヘーデンまき網漁業](#)



アトランティックメンヘーデン: Atlantic menhaden
(学名: *Brevoortia tyrannus*)

アイスランドの底魚漁がMSC認証を取得



9月10日

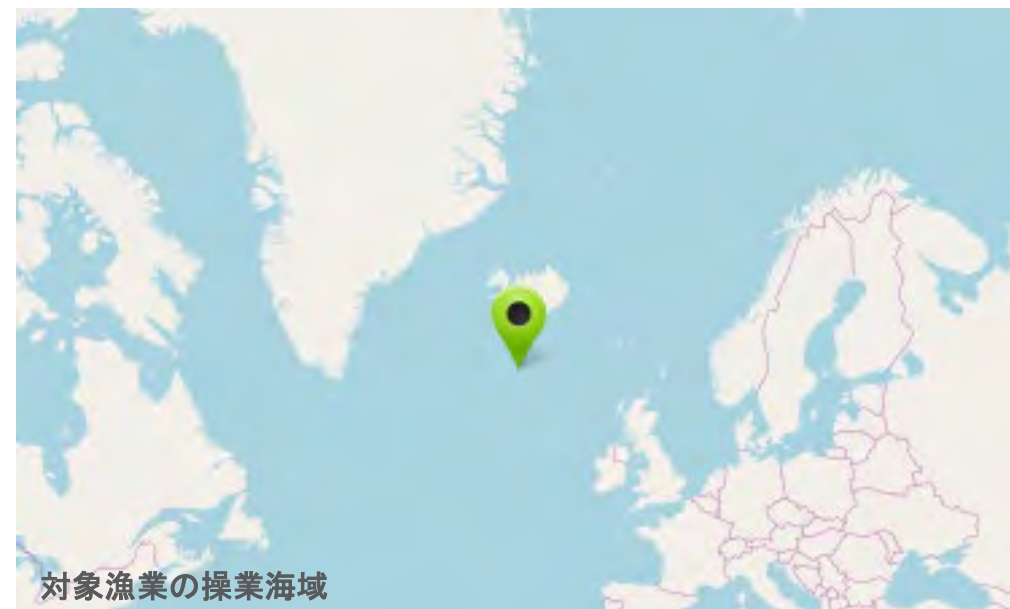
アイスランドEEZで操業する底魚漁業が新たにMSC認証を取得しました。これまでは2つの漁業で別々に認証を取得していましたが、再認証を機に1つの認証漁業となりました。

魚種はタイセイヨウオオカミウオ、アツカワダラ、ブルーリング、リング、プレイス、セイス(シロイトダラ)、タイセイヨウアカウオの7種で、この漁業による漁獲量は137,778トンです(2017年)。漁法は刺網、はえ縄、釣り、底曳き網等の複数の漁法です。

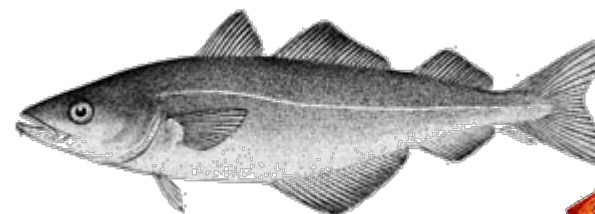
審査は独立した第三者審査機関のVottunarstofan Tun社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、それらの管理システムが検証され、この漁業が持続可能であることが証明されました。

ただし今後の状況を見据えて、漁獲制御ルールの整備や混獲種の管理が認証の条件として付与されています。

詳しくは、MSC認証漁業のウェブサイトからご覧いただけます。
[ISF Iceland multi-species demersal fishery: ISF社](#) [アイスランドの複数種底魚漁業](#)



対象漁業の操業海域



セイス(シロイトダラ) : Saithe
(学名 : *Pollachius virens*)



タイセイヨウアカウオ : Golden redfish
(学名 : *Sebastes marinus* / *S. norvegicus*)

画像提供 : FAO

チリ南部のヘイク漁業が新たにMSC認証を取得



9月24日

チリ南部の沿岸で操業するヘイク漁業が新たにMSC認証を取得しました。魚種は英名をAustral / Southern hakeとするヘイクで、漁法ははえ縄とトロールです。

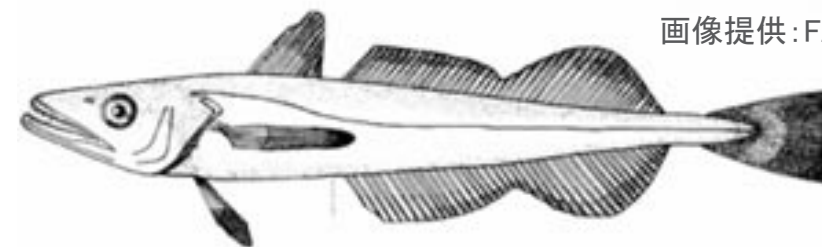
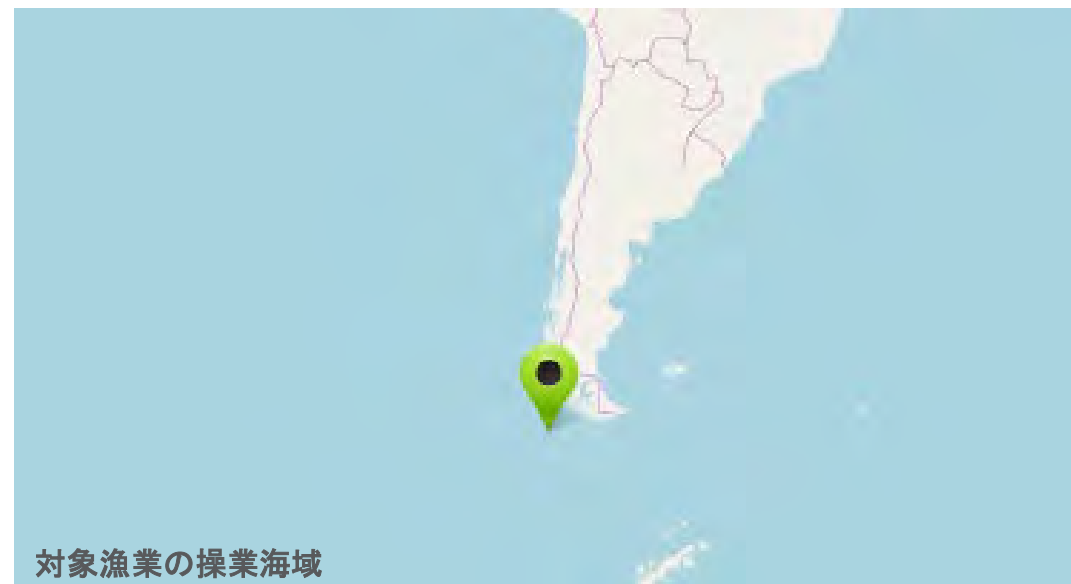
この漁業によって漁獲されたヘイクは、主にスペインに向けて加工・輸出されます。2017年の漁獲量は8,600トンでした。

審査は独立した第三者審査機関のSAI Global社によって行われ、資源状態、漁業による環境への影響、それらの管理システムが検証され、この漁業が持続可能であることが証明されました。

持続的に漁業を続ける漁獲方策や、漁獲制御ルールが整っていることが評価された一方で、4年目の監査までにヘイクの産卵親魚量の回復や、トロールによる混獲魚へ影響を減らすことがこの漁業の条件として付与されました。

詳しくは、MSC認証漁業のウェブサイトからご覧いただけます。

[Chile Austral hake \(Merluccius australis\) industrial trawl and longline: チリAustral hakeの大規模トロールと延縄漁業](#)



画像提供:FAO

ヘイク: Austral hake (学名: *Merluccius australis*)

新規審査入り情報 アメリカ北東沿岸のイカ漁業

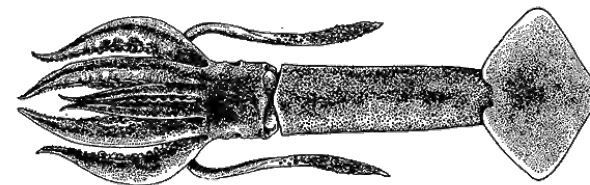
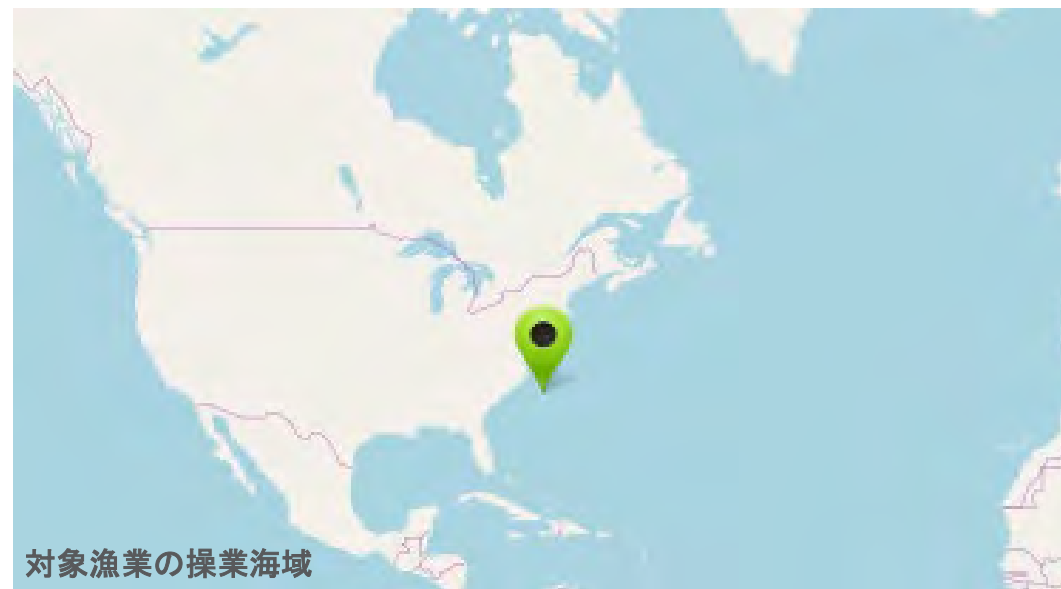


9月17日

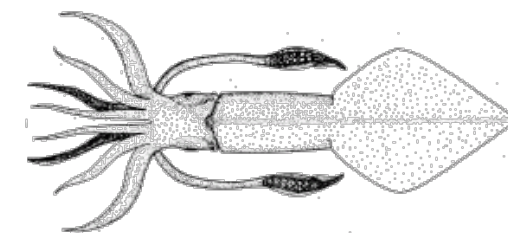
アメリカ北東沿岸のアメリカケンサキイカ(英名: Longfin Squid)、カナダマツイカ(英名: Northern Shortfin Squid)がMSC漁業認証の本審査に入りました。

この漁業の漁法は底曳き網で、漁獲量は35,727トン(2018年)です。同種のイカでは今年5月にUS Northeast Longfin Inshore Squid Bottom Trawl Fisheryが認証を取得しており、今後MSC認証のイカが増えることが期待されます。

審査は、独立した第三者審査機関のSCS Global Services社によって行われ、環境に配慮した持続可能な漁業のためのMSC漁業規格に則して審査されます。審査が完了するまでは、この漁業が持続可能であるかの判断はなされません。



アメリカケンサキイカ: Longfin Squid
(学名: *Loligo pealeii*)



カナダマツイカ:
Northern Shortfin Squid
(学名: *Loligo pealeii*)

詳しい情報は、MSC認証漁業のウェブサイトからご覧いただけます。

[U.S. Northeastern Coast Longfin Inshore Squid and Northern Shortfin Squid Bottom Trawl Fishery](#): 米国北東沿岸カナダマツイカ、アメリカケンサキイカ底引き網漁

画像提供: FAO

新規審査入り情報 ロシアカムチャッカ半島西部のサケ漁業



9月12日

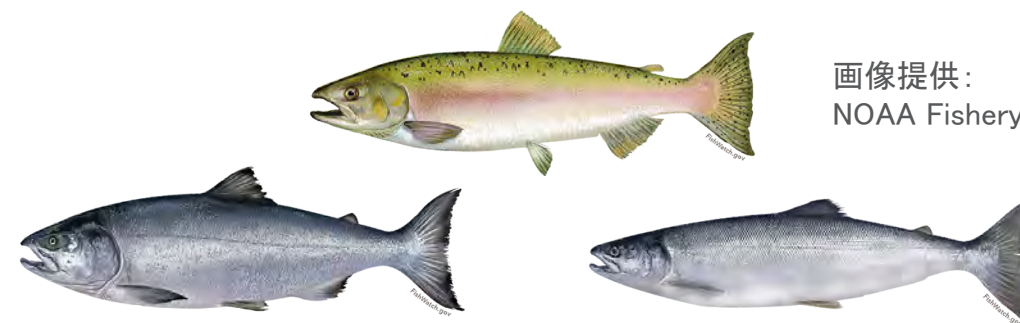
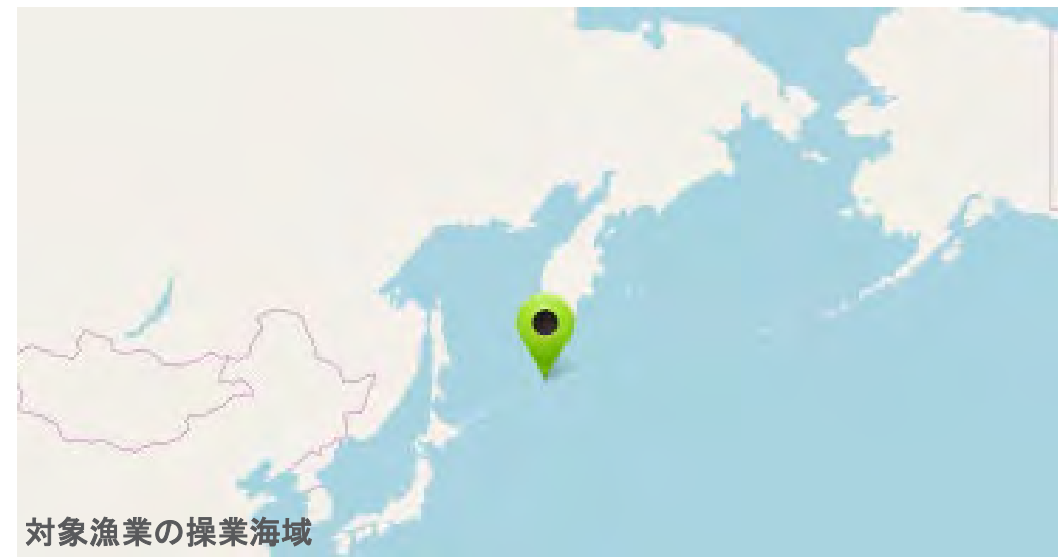
ロシアのカムチャッカ半島西部沿岸で行われるサケ漁業がMSC漁業認証の本審査に入りました。

対象となる魚種は、カラフトマス(英名:Pink Salmon)、シロザケ(英名:Chum Salmon)、ベニザケ(英名: Sockeye-red Salmon)の3種です。この漁業による漁獲量は24,300トン(2018年)で、漁法は沿岸定置網等の網漁業です。

審査は、独立した第三者審査機関のMRAG Americas, Inc.社によって行われ、環境に配慮した持続可能な漁業のためのMSC漁業規格に則して審査されます。審査が完了するまでは、この漁業が持続可能であるかの判断はなされません。

詳しくは、MSC認証漁業のウェブサイトからご覧いただけます。

[Ozernovsky RKZ No 55 West Kamchatka salmon fishery: Ozernovsky RKZ No55カムチャッカ半島西部のサケ漁業](#)



画像提供:
NOAA Fishery

左から、カラフトマス:Pink Salmon、シロザケ:Chum Salmon、ベニザケ: Sockeye-red Salmon

助成金「Ocean Stewardship Fund」のご紹介



MSC認証を目指す漁業、MSC認証を継続する漁業に向けた助成金「**Ocean Stewardship Fund**」を開設しました。この助成金には3つの種別があり、それぞれに対象となる漁業や目的が異なります。2019年の応募期間は9月30日(月)～12月15日(日)となります。

Transition Assistance Fund

MSC認証取得を目指してIn Transition to MSC (ITM) という漁業改善プログラムに取り組む漁業への助成金。

※今年Fish for goodプロジェクトに参加する漁業のみ対象。今後はITMに取り組む他の漁業も対象となる予定。

Science and Research Fund

既にMSC認証を取得している漁業のうち、改善のための条件が付加されている漁業が対象。漁業をより持続可能なものにするために取り組む、科学的な調査費用に対して、最大で50,000ポンドを補助。

※今年漁具投棄や絶滅危惧種への取組みを優先。

Recertification Assistance Fund

既にMSC認証を取得している漁業が、5年の認証期限を迎えて再認証の審査を受ける際に、最大で審査費用の75%または30,000ポンドを補助。

詳細および申請書類は[こちら](#)のウェブサイトからご覧ください(英語のみ)。

その他

名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」でMSCが展示



2019年9月1日

9月1日～27日(金)まで、名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」にてマンスリー展示としてMSCが紹介されました。

「エコパルなごや」でのMSCの展示は昨年につき2回目で、来場者にめくってもらう仕掛けのポスターや、アンケートを新たに設置しました。55名の方がアンケートを記入してくださいました。

小学校からの団体訪問や地域の散策イベントで訪れる来場者が多く、たくさんの方にMSCを知っていただく機会となりました。



ポスター、アンケートを設置



エコパルなごや
テーマ別展示の
コーナー



エコパルなごや
マスコットキャラ
クター:コパ

エコパルなごや
公式ウェブサイトでも
紹介されています。

MSCを説明する
パネルや、持ち帰
り用資料を設置

6回目となる「サステナブル・シーフード・ウィーク」が今年も開催



MSC日本事務所は今年もASCジャパンと協働で、「サステナブル・シーフード・ウィーク 2019」を、2019年10月8日～31日に開催します。

2014年よりスタートし、今年で6回目を迎える「サステナブル・シーフード・ウィーク」は、MSCラベルやASCラベルのついた「サステナブル・シーフード」を普及するためのキャンペーンです。今回のテーマは「新たな消費者層の開拓」。ファミリーやSNSユーザー層へのアプローチを目指します。

東京都、愛知県、宮城県、埼玉県の4都県で料理教室やワークショップを開催するほか、ラベルとともに「魚顔」をした写真をInstagramへ投稿することで、認知度アップを目指す初のオンラインイベント「#fishface(フィッシュフェイス)」も実施します。

初日の8日(火)に葛西臨海水族園(東京都江戸川区)で開催されるオープニングイベントは、MSCアンバサダーのコリコ田中直樹さんをはじめとするタレントも登壇し、来場者に楽しく「サステナブル・シーフード」について知っていただく催しです。

今年の協賛企業・組織数は19社、賛同企業・組織数は58社となりました。合計で77社となり、去年の54社を大きく上回っています。

詳しくは、[サステナブル・シーフード公式サイト](#)をご覧ください。

サステナブル・シーフード・ウィーク

「サステナブル・シーフード・ウィーク」ロゴ



MSCアンバサダー
コリコ田中さんによる
#fishface投稿イメージ



昨年の料理教室の様子

【MSC認証】(2019年9月30日時点)

□漁業認証取得漁業数:

世界・・・379件 / 日本国内・・・5件

□漁業認証審査中漁業

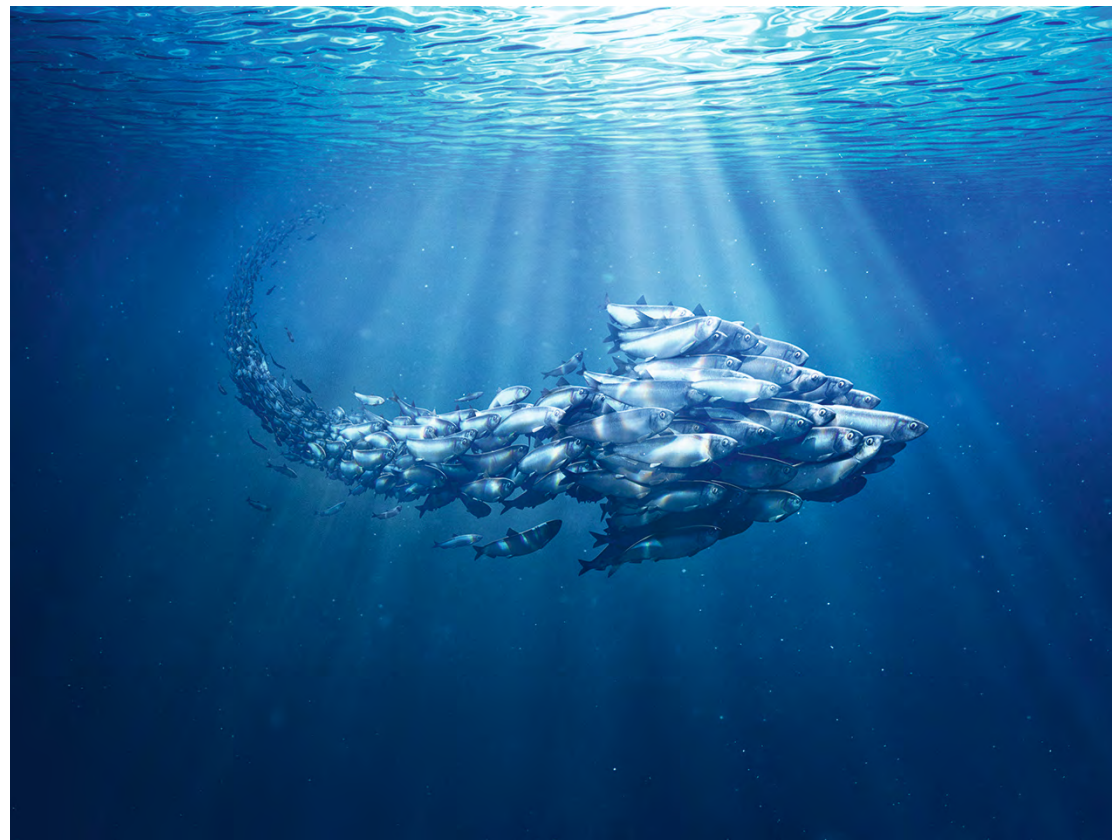
世界・・・138件 / 日本国内・・・2件

□CoC認証取得事業者数

世界・・・ 4,881件 / 日本国内・・・252件

□MSCエコラベル付き製品数:

世界・・・ 40,000品目以上 / 日本国内・・・815品目





ありがとうございました

このニュースレターに関する問い合わせ先

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

Tel: 03-5623-2845

Email: MSCJapan@msc.org

<https://www.msc.org/jp>

www.msc.org
